

# ヴェリタス学習会通信 84

予定表カレンダー →



## 令和6年3月の予定

- ・月曜日 3月4・11・18・25日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
- ・水曜日 3月6・13・20・27日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・木曜日 3月7・14・28日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30  
21日 員弁老人福祉センター1階会議室4 18:00～20:30
- ・金曜日 3月1・8・15・29日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00  
22日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00



藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

21日(木)は、一番東の会議室4です。

22日(金)は、北勢市民会館の先約があったのでヴェリタスの事務局で行います。

ヴェリタス事務局の所在地は、511-0261 いなべ市大安町丹生川上 650-1 です。

積雪や路面凍結の恐れがある場合、休会連絡を行います。不安な場合はお問い合わせください。

## 連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければ Messenger が使えます。

メールやLINE登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



## Zoomなどの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がる Zoom クラウドミーティングや Skype, Facetime, Google Meet などを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

## 秦の始皇帝、万里の長城の建設を命令

中国最初の皇帝、秦の始皇帝は、北方の遊牧民が中国に侵入してくるのを防ぐために、万里の長城の建造を



始めました。宮殿や自分の墓の造営も行うため、農民への税が二十倍にもふくれ上がったといえます。建造や造営のために70万人以上の罪人などを使いました。税を払えない農民も罪人にしたため、100万人にも増えたといわれています。

## 陳勝・呉広の乱

農民900人が、長城の守備兵として役人に連れていかれる途中、長雨のため湿地帯を越えることができませんでした。このとき始皇帝は亡くなっていて2代目の皇帝胡亥こがいの時代でしたが、秦の規則は厳しくて、期日までに任地に着かないと処刑されてしまいます。



その農民の中に、陳勝ちんしょう・呉広ごこうという2人の人物がいました。遅れて着いても首をはねられてしまうのならば、いっそ戦って死のうと思ったのでしょうか。農民たちを先導して反乱を起こします。秦の圧政に苦しんでいた各地の人々が集まり、兵が数十万人にふくれ上がります。秦の官軍を次々と破って、一部の軍勢は都の咸陽かんようにあと一步のところまで行きますが、官軍の反撃にあいます。反乱軍は仲間割れもあって、陳勝も部下に殺されてしまいます。

## 項羽と劉邦



陳勝は亡くなりましたが、各地でいくつかの反乱軍ができあがっていて、秦に対抗していました。その中に、楚そ（中国南方の地方の国）の名門出身の項羽こううと農民出身の下級役人劉邦りゅうほうがいました。

項羽は武力にも優れ、「背水の陣」の故事成語の由来となった戦いなどに勝利し、咸陽に迫りました。しかし、一足先に咸陽に入り、秦を降伏させていた劉邦に先を越されてしまいます。秦は滅びましたが、各地で王が乱立し、再び戦国時代のようにになりました。

やがて、項羽と劉邦が率いる2大勢力が残っていきます。軍事的には常に項羽が優勢で、劉邦は何度も危機おちいに陥ります。しかし、劉邦は負けても負けても勢力を盛り返します。

劉邦には人望じんぼうがありました。部下がついてくるのです。人間的魅力にあふれていたのでしょうか。人の意見もよく聴きました。

一方、項羽は強いものの、降伏してきた敵を生き埋めにしたり、反対する者を処罰したりします。

## 四面楚歌

2軍の最後の戦いは、垓下がいかの戦いです。何度か戦ったのち、項羽は垓下まで追い詰められました。劉邦軍は、韓信かんしん将軍に率いられた30万人。項羽軍は疲れ切った10万人。食料もありません。劉邦軍は食料や武器も蕭何しょうか大宰相だいたいさいしやう（総理大臣のような仕事）のおかげで充分あります。



項羽の軍勢は、劉邦軍に何重にも包囲されました。夜、敵の劉邦軍の陣営から歌が聞こえてきます。項羽のふるさとの楚の歌です。「私の地元の若者たちも、劉邦軍にたくさん入ってしまったのか」と項羽は言って、詩をつくって歌います。司馬遷しばせんの『史記』や陳勝ちんしょうの『漢書』に載っているのです。調べてみましょう。

このあと、項羽は900騎の精鋭部隊と包囲を突破しますが、最後は追い詰められ、自ら首をはねます。